

お客様各位

■□=====

□

株式会社 京浜予防医学研究所

■□ KMLメールニュース □■ ◆◆ VOL.56 ◆◆

=====□■

株式会社 京浜予防医学研究所 よりお知らせ致します！

2014年 8月 13日発行

□■ <http://www.kml-net.co.jp/>

KMLメールニュースVOL.56をお送り致します。
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の
一助として頂ければ幸いです。

☆☆ トピックス ☆☆

- 【1】 アレルゲンコンポーネントについて
- 【2】 学術研究発表：鑑別用血液染色液ディフ・クイックによる
染色性及び検査センターでの有用性
—末梢血液像分類における検討—
- 【3】 本社ビル移転のお知らせ
- 【4】 KMLインフォメーション 6月～8月分のお知らせ

1 アレルゲンコンポーネントについて

この度、より安全でより正確なピーナッツアレルギー診断のための
コンポーネント試薬 Ara h 2 (アラエイチツー) が追加されま
した。

- そもそもアレルゲンコンポーネントって何？
アレルゲン原料から抽出される多種類のたんぱく質を含む粗抽
出アレルゲン(スギ、卵白など)に対して、単一のたんぱく質
のみを取り出したものです。アレルゲンコンポーネントには異
なる原料にも非常に似たコンポーネントが含まれていることが
あり、交差反応性の原因となる場合や、その原料に特異的なコ
ンポーネントである場合もあります。
- アレルゲンコンポーネントって何が有用なの？
臨床症状との関連が証明された特定のアレルゲンコンポーネン
ト、例えば、小麦の ω -5 グリアジンや卵白のオボムコイドに
対する特異的IgEの測定によって、臨床的感度や臨床的特異度
の向上が期待できます。また今後は免疫療法の適応判断などに
も応用できると考えられています。※1
- 具体的にはどんなアレルゲンコンポーネントが保険適用されて
いるの？
 - ・卵白由来のオボムコイド：卵白の特異的IgE抗体が陽性でも熱
に強いオボムコイドの特異的IgE抗体が陰性の場合、加熱され
た卵が食べられる可能性があります。※2
 - ・小麦由来の ω -5グリアジン：即時型小麦アレルギーにおいて
イムノキャップ特異的IgE 小麦は臨床的感度が非常に良い反面、
実際は摂取可能な場合でも陽性という結果がでる場合も多く、
抗体価だけでは判断できないケースも多くあります。ここに ω -5
グリアジンを組み合わせることで測定することにより、 ω -5グリアジ
ンの抗体価が3.5UA/mL以上であれば、ほぼ間違いなく小麦アレ
ルギーであると診断できます。※3
また小麦依存性運動誘発アナフィラキシー(WDEIA)に対する臨
床的感度は小麦48%、グルテン56%に対して ω -5グリアジン 80%
と高く、臨床性能が大きく改善されています。※4
- 今回発売されたアレルゲンコンポーネントのAra h 2
(ピーナッツ由来)ってなに？
ピーナッツのアレルゲンコンポーネントの1つであり、臨床症
状発源と強い関係性が報告され、ピーナッツ摂取によるアレル
ギー症状誘発リスクのある患者様を高い確率で選別するこ
とができるとされています。※5 ※6

現在のイムノキャップ特異的IgE ピーナッツは実際に症状を誘発する患者様を陽性として高頻度に陽性と判定できる一方、症状を誘発しない患者様まで陽性判定をしてしまうという課題があります。そのため明らかな既往歴が不明なままピーナッツが陽性というだけの理由で除去指導が行われるケースが少なくないと言われ、微量のピーナッツ混入に怯えた生活を送らざるをえず、患者様やそのご家族のQOL（クオリティー オブ ライフ）を低下させている可能性があります。

イムノキャップ特異的IgE ピーナッツ陽性かつイムノキャップアレルゲンコンポーネント Ara h 2（ピーナッツ由来）の値が4.0UA/mL以上であればピーナッツアレルギーである可能性は極めて高いと言え、ピーナッツとAra h 2を組み合わせることで、より精度の高い診断が可能となり、患者様やその家族のQOL向上に繋がります。

Ara h 2をご依頼の際には、指示事項に依頼のご記載をお願いします。

Ara h 2 のリーフレットはこちらからご覧ください
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/ara.pdf>

- ※1 アレルギーの臨床 2009; 29(10):58-62
- ※2 J Allergy Clin Immunol 2008; 122: 583-588
- ※3 Allergy 2008; 63(11): 1536-1542
- ※4 Allergy 2008; 63(2): 233-236
- ※5 J Allergy Clin Immunol 2011; 127:684-685
- ※6 日本小児ア誌 2013; 27(4): 621-628

〔 2 〕 学術研究発表：鑑別用血液染色液ディフ・クイックによる
染色性及び検査センターでの有用性
—末梢血液像分類における検討—

2014年5月17・18日に新潟県 朱鷺メッセ、ホテル日航新潟、ANA クラウンホテル新潟で行われました「第63回 日本医学検査学会」において弊社検査技師が発表を行いましたので紹介させていただきます。

【演題】
鑑別用血液染色液ディフ・クイックによる染色性及び検査センターでの有用性 —末梢血液像分類における検討—

【はじめに】
鑑別用血液染色液ディフ・クイック（シスメックス）は、ライト染色・ギムザ染色と同様な染色が迅速に得られる染色液セットであり、わずか15秒で染色を行うことができる。今回、ディフ・クイックを用いて末梢血液像分類における基礎的検討及び検査センターである当血液検査室での有用性を検討した。

詳しくは、下記URLをご参照下さい。
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/20140517.pdf>

〔 3 〕 本社ビル移転のお知らせ

この度 弊社旧本社ビルが手狭になりましたので、7月22日より下記に移転を完了いたしました。これもひとえに皆様方の日ごろのご愛顧とご支援のおかげと感謝申し上げます。

これを機に新型検査機器を導入し、検査精度のなお一層の向上に努めてまいります。皆様のご期待に添えるよう従業員一同精一杯努めてまいります所存でございまして、今後とも何卒お引き立て賜りますようお願い申し上げます。

お近くにお越しの際はどうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

移転先：216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1
電話：044-777-3254
FAX：044-766-6712
※電話番号・FAX番号の変更はございません

